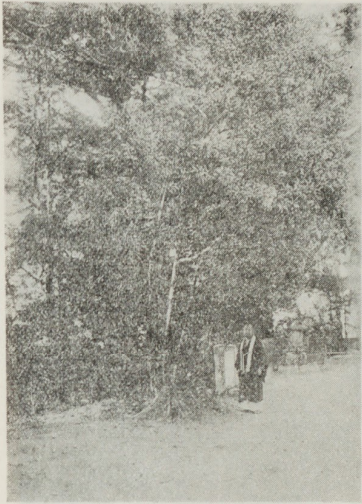


ノナリト言フ、コレマタ鐵套ト同ジク本堂右傍ノ小高キ石垣ノ中ニ插マレツ、アリ。

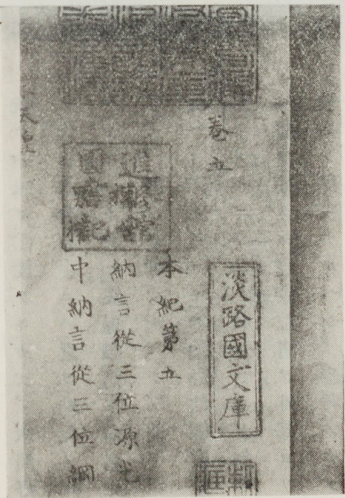
四

本山頂ヲ以テ諾冊二尊最初影向ノ地トセシハ既ニ弘安在銘ノ梵鐘ニモ見ユル思想ニシテ、本堂左側ノ地域挿入ノ第一四圖ニ於テ、人物ノ立テル地點ニモト二尊ヲ奉祀セシ神社存セシモ維

第一四圖 御神嶽神社舊社地



第一五圖 淡路國文庫藏書



(千光寺所藏)

新廢佛毀釋ニ際シテ住職某ハソノ木像ヲ洲本町縣社八幡神社ノ一隅ニ移棄シタリ、然ルニ近時懇信者等相傳リテ八幡神社祠官ヨリ尊像ヲ得テ、先山中腹ニ小祠ヲ營ミテ奉齋シツ、アリ、御神嶽神社ト云フ。

五

先山千光寺ニ就テナホ記スベキ事多キガ、就中、本寺近時ノ建立ニカ、ル文庫ニハ淡路國文庫ナル藏書印ヲ押捺セル舊洲本藩侯舊藏本ト思ハル、寫本大日本史以下多數ノ和漢書ヲ保管シツ、アル事ハ、特記ニ價スベシ。本委員ハ不日該文庫ノ調査ノタメニ出向スル機アルベキヲ信ズルモノナレバ、精査ヲ遂ゲン上ニテ報告スル所アルベシ。(中村委員)

名

勝

加
家
部

五

調査委員 松本從之

加東郡 龍瀧

〔圖版第一九〕

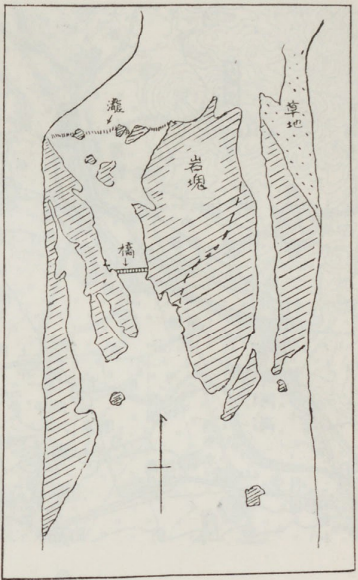
位置 關龍灘ハ加東郡瀧野町上瀧野ノ東部ヲ流ル、加古川中ニアル名勝地區ニシテ、山陽線
加古川驛ニテ播丹鐵道ニ乘リ換ヘ、加古川ノ河條ニ沿ヒテ北行スルコト二十七キロメートル餘、
第一六圖 瀧野町附近地圖



同所ニ達シ得ベシ。

現状 關龍灘ハ加古川ノ中流ニ當リ、該
川ハ此地附近ニ至リテ其河幅約百三十餘メ
ートルニ及ベリ。關龍灘ハ實ニ此河中ニ硬
キ石英粗面岩ノ大岩塊ガ南北約百メートル
ニ亘リテ河岸並ニ河中ニ露出シ、河水面上
約三メートル乃至五メートルノ高サヲ有
セリ。岩塊上ハ概ネ殆ボ同一ノ高度ヲナシ
テ一廣面ヲナシ、此等ノ岩面ニハ水蝕ニ依

第一七圖 鬮龍灘附近見取圖



ル幾多ノ裂罅ト小甌穴ヲ存セリ。該岩塊ノ北端ト西河岸トノ間ニハ高サ一メートル餘、幅四十メートル餘ノ急湍ヲ懸ケ、此急湍ニハ「檜下シ」^{ヒノキオト}「蹴鞠」^{ケマリ}等ノ名稱ヲ附セリ、湍下附近ノ最深所ニテ六一〇メートルノ水深ヲ有ス。

成因 加古川ノ上流並ニ下流ニハ此ノ如キ大岩塊ノ河中ニ露出セル處ヲ見ズ。然ルニ鬮龍灘附近ニ於テ此ノ如キ大岩塊ノ殘存露出セルハ、元來、加古川流域一

帶ニハ石英粗面岩ノ地帶多キモ、就レモ該川ノ爲ニ侵蝕セラレ終リテ、此ノ如キ大岩塊ヲ存セザルモ此地域ノ石英粗面岩ハ硬度特ニ大ニシテ、ヨク水蝕ニ抵抗シ以テ今日ニ殘留セルモノ、如シ。

思フニ該岩塊ハ一ノ奇勝タルト共ニ香魚ノ產地トシテ永ク名勝地區トシテ保存ノ要アリト信ズ。

備考

鬮龍灘ノ名稱ハ梁川星巖ノ詩ニヨリテ普ク其名ヲ知ラレ文人墨客ノ來遊セルモノ少カラズ。

河中ノ孤岩深淵等ニハ地人壘岩三ツ岩地藏岩不動岩屏風岩待岩クラカケ岩ラク釜大メウカ淵高田淵イザリ松等ノ名ヲ附セリ。又口碑ニヨレバ往昔鬮龍灘岩上ハ一面ノ芝生ニシテ所々ニ巖頭ヲ現スノミナリシト、河條モ亦町ノ西部ヲ流レタリト傳フ。

梁川星巖

一道飛瀧劈地開 怒聲豪勢鬮風雷 秋入千巖霜葉麗 玉龍躍出錦雲堆

岡田半江

雨餘新漲勢洪々 塘沒巖消萬象空 河神恐落丹青手 深匿全形奔雪中

藤澤南岳

不是回風生紫瀾 巨巖激水水成灘 浪花翻起雪三尺 也作香魚飛躍看

瀧野偶作

宿雨無端翻雪瀾 梯橋斜處是危灘 香魚不飛亦堪賞 新樹怪岩憑欄看

陪遊夫子于瀧灘乃步瑤韻賦呈

誰將斯道救狂瀾 人海風饕險似灘 驚浪來探堪洗耳 師門乃作大平看

瀧主水

瀧浪のみなきる時はさもなくしてつかなる日そ面しろき哉

當所ハ又鮎ノ名產地トシテ夙ニ其名著ル。毎年三月廿三日頃小屋入りト稱シ、河岸ニ小屋ヲ建テ、漁獲ノ準備ヲナス。カクテ漁獲ハ四月一日ニ始リ五六月ノ候ヲ最盛期トス。而シテ漁獲

ハ鮎ノ外、蟹蝦等ノ産モアリ。蟹ハ終年漁獲アリテ殊ニ冬季ノモノハ最美味ナリト稱セラル。該河ノ灘ハ昔時阿江與助ナル人之ヲ改修シ、其効ニヨリテ船座稅ナルモノヲ通行ノ船舶ニ課スルヲ許サレタリキト傳フ。

第一八圖 關龍灘ニ於ケル鮎漁獲ノ風景



鮎人工孵化ノ方法及成績

上瀧野漁業組合専用漁場ハ兵庫縣加東郡瀧野町ニ屬スル加古川ノ流域南北水流千八百間ニシテ其中、定置漁場タル上瀧野關龍灘ハ往昔文祿年間阿江與助源正友ガ巖石ヲ開鑿シタル

目下、灘下ニ於テ長良川ヨリ鮎卵ヲ取り寄セ人工孵化ヲナシツ、アリ。其結果、在來該河ノ鮎ノ最大ナルモノハ百八十グラム内外ニ過ギザリシガ、近時二百四十乃至二百六十六グラムノ大鮎ヲ産スルニ至リシトイフ。
人工孵化ハ十月中旬ノ氣候ニアリテハ十日乃至十四日、十月下旬ノ氣候ニアリテハ十四日乃至二十日ノ日數ヲ要ストイフ。
今左ニ上瀧野漁業組合ガ大正十五年四月姫路ニテ開催セラレシ全國産業博覽會ニ提出セシ成績報告書ヲ載セテ參考ニ資セントス。

ニ始マリ、次テ元和年間ヨリ汲鮎漁場トシテ納稅、無年季拜借シ來リタル由緒アルモノニシテ明治三十六年五月兵庫縣ヨリ鮎算ノ定置漁業ヲ免許セラレ明治四十二年三月當漁業組合設立後之ガ漁業權ヲ繼承シ次テ明治四十二年十一月古來ノ慣行ニ依リ農商務大臣ヨリ專用漁業ノ免許ヲ受ケ爾來算ヲ以テ鮎ヲ捕獲シ、關龍灘ノ奇勝ト相待テ其名聲著シク播州鐵道開通以來歲ト共ニ遊覽客ノ増加ヲ來タセリ。

而シテ當組合ハ加古川流域ニ於ケル鮎ノ増殖ヲ圖ラムガ爲、大正五年以降、岐阜縣長良川ニ於テ種鮎ヲ捕獲シ其鮎卵ヲ購入、關龍灘ニ於テ人工ヲ以テ孵化セシメ之ヲ當加古川流域ニ放流シタル結果、累年形狀ノ大ナル良種ヲ漁獲スルニ至リ成績佳良ナルヲ以テ尙引續キ此ノ事業ヲ行ヒ初期ノ目的ヲ達成セントス。

大正五年以降鮎人工孵化事業ノ方法及其成績左ノ如シ。
一、鮎人工孵化ノ方法

毎年十月中下旬ニ於テ投網又ハ卷網ニテ捕獲セル種鮎ヨリ卵ヲ採集シ孵化椀ニ附着セシメ夫レヲ孵化槽ニ入レ流水ニ浸スコト二週間乃至三週日ニシテ全ク孵化ヲ了ス。
二、成績

年次

孵化放流尾數

大正五年

一五〇萬尾

六年

二五〇

天
然
紀
念
物

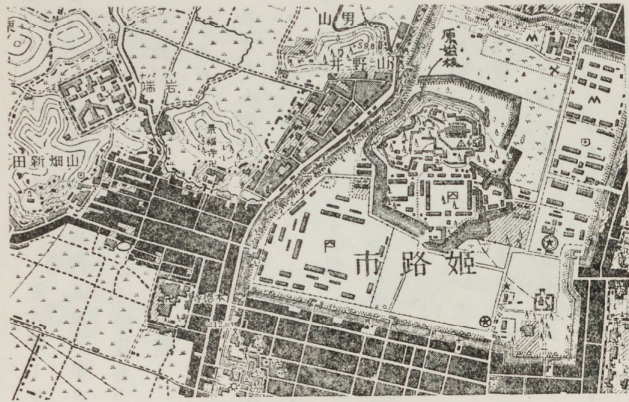
| 名 | 勝 |
|-----|-----|
| 七年 | 三五〇 |
| 八年 | 四〇〇 |
| 九年 | 五〇〇 |
| 十年 | 六〇〇 |
| 十一年 | 七〇〇 |
| 十二年 | 八〇〇 |
| 十三年 | 七〇〇 |
| 十四年 | 七〇九 |
| 十五年 | 九六三 |

(松本委員)

天然紀念物調査委員 西 貞 治
 同 松 本 從 之
 同 山 鳥 吉 五 郎

第一 姫路市 姫山公園ノ原始林

〔圖版第二〇及第二一〕



第一九一圖 姫山公園附近地圖

所在 姫路市姫山公園内

姫山公園内白鷺城ノ北方ニ當リ堀ニ沿ヒテ鬱蒼タル森林アリ。古來未ダ斧鉞ノ加ハラザル原始林ニシテ大都市ノ中央ニ於テカ、ル原始林ノ存スルコトハ蓋シ珍ラシキ事ナルベシ。林中ニ生ズル木本ハ約數十種ヲ數フベシ、就中最モ目立ツモノハ「あらがし」櫻、及ビ「たらねふ」ニシテ其古木多シ。堀ニ面シテ二本ノ「たらねふ」大木アリ、其一ハ莖ノ周圍一八五メートル、高カラズシテ枝ヲ廣ク張レリ、他ノ一ハ莖ノ根本ノ周圍二六メートルニシテ忽チ目通ノ周圍一三メートルノ二大幹ニ分カレ樹勢頗ル宜シク眞直ニ伸ビテ碧空ニ摩スルノ狀實ニ壯觀ヲ極ム。林中ニ入りテ見レバ目通一四メートル内外ノモノ少カラズ。「あらがし」ニハ目通一五メートル

ル、「くろがねもち」ニハ一五六メートル、「わのき」ニハ一四メートル内外ノモノアリ。林中ニ生ズルモノハ我國中南部以南ノモノ多ク、其暖地性ノ主タルモノニハ、

かくれみの、 もくこく(厚皮香)、 たらねふ、 な、めのき、

くろがねもち、 はせのき(樺)、 せんだん(棟)、 びは(枇杷)、

かめめもち、 ざべら(海桐花)、 かごのき(六駟)、 やぶにつけい、

やまかうばし(山胡椒)、 なんてん(南天竹)、 いぬびは(仙天果)、 いたびかづら、

あらがし(檜)、 あべまき、 むくのき(樺樹)

等アリ。ソノ他「けやき」(樺)、「わのき」(朴樹)、「やまがき」(大木)ナド加ハリテ密林ヲ形成シ、「ていかかづら」(絡石)、「ふゆづた」(常春藤)、「あけび」(通草)、「いたびかづら」ナドノ蔓植物上昇シ殊ニ「いたびかづら」ノ繁茂ノ著シキモノアリ、最珍ラシキモノハ葛ノ大木アリシコトナリ。

其周圍三五センチニ達シ未ダ嘗テ文献ニ見ザルモノニシテ其横断面ヲ見ルニ木質部ト韌皮部トノ互層ヲナシテ異常發育ノ例トシテモ價値アルモノナリ(圖版第二一参照)。此大木ハ姫路師團長ノ官舎内ニ移植シテ枯死セシコトハ實ニ惜ミテモ餘アリトイフベシ。陰樹ニハ「あをき」(桃葉珊瑚)最モ多ク「まんりやう」(硃砂根)ノ如キ暖地性ノ小灌木ヲモ交フ、下草ニハ「やぶらん」(麥門冬)、「じやのひげ」(沿階草)、「やぶめうが」(杜若)、「べにしだ」、「やぶそてつ」、「おにやぶそてつ」、「わのもとさう」(井口邊草)ナドノ羊齒植物多シ。(山鳥委員)

印 南 郡

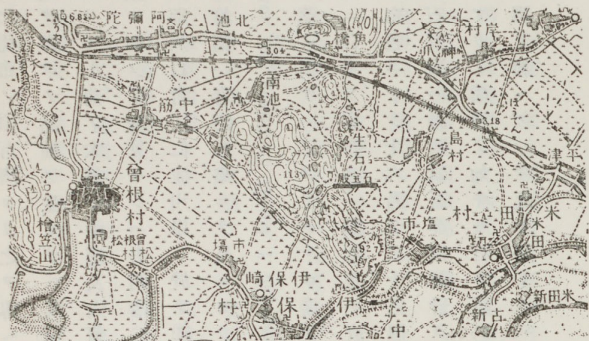
第二 菊ノ原種ノ野生北限地

[圖版第二二]

所在 印南郡阿彌陀村

山陽線寶殿驛ヨリ約一キロメートルニシテ播磨名所トシテ有名ナル石ノ寶殿アリ、其山麓ニ菊ノ原種タル「のちぎく」ノ群落アリ。「のちぎく」ハ支那朝鮮ヨリ我國ハ本土ノ南部四國九州琉球地方ニ分布セリ。而シテ兵庫縣ハ恐ラク我國ニ於ケル「のちぎく」ノ最東北端ナルベク明石郡内ニモ散在シ六甲山麓ニモ野生シ六甲山麓ガ最北限タルベシト雖モ縣下ニ於テ石寶殿ノ如ク多數ヲ産スル處ヲ見ズ。石寶殿ニ至ル山徑ヲ登ルマデニ小溝ヲ渡リ直ニ左シテ石切場ニ至ル小徑ヲ辿レバ徑ノ右側ナル丘ノ麓ヨリ右側ノ溝ノ堤ニ多數ヲ生ジ南方ノ山麓ニ更ニ多クヲ生ズ、生石神社ノ石垣ノ麓マデモ分布スレドモ山麓向陽ノ地ニ最モ多シ。

支那ニ於テハ早く此種ヲ淘汰シテ菊ヲ作りシガ我國ニ



圖地近附殿寶ノ石 圖〇二第

ハ仁徳帝ノ頃百濟ヨリ之ヲ傳ヘタリト云フ。我國ニ入リテ更ニ著シク人爲淘汰ヲ加ヘテ今日ノ如ク多クノ品種ヲ生ゼリ。其原種ニハ二種アリ、小菊ノ一部ハ「しまかんぎく」ヨリ來レルモノナレドモ小菊ノ大部分中菊及大菊ノ殆ンド全部ハ「のちぎく」ヨリ降レリ。我國ニ於テ「のちぎく」ノ野生ヲ初メテ發見セシハ去明治二十年十一月ニシテ植物學者牧野富太郎氏ガ其郷里ナル高知縣吾川郡川口村ノ仁淀川岸ニ於テ初メテ採集シ「のちぎく」ト命名シ同二十四年五月同氏著日本植物志圖篇第一卷第九集ニテ公ニセラル。「のちぎく」ハ野路菊ノ意ニシテ學名ヲ *Chrysanthemum morifolium* Ram. var. *genuinum* Hemsl. f. *Japanese Makino*. ト稱ス。

莖ノ高サ一二メートルニ達シ葉ハ卵形心脚ニシテ缺刻及粗キ鋸齒ヲ有スルコト菊ト同ジク裏面ニ白毛ヲ密布ス。頭狀花ハ直徑二〇—三八センチニシテ中心ノ筒狀花ハ黃色、周圍ノ舌狀花ハ白色ニシテ十六乃至二十三個ヲ有ス。總苞ハ長楕圓形ニシテ圓頭、縁邊ハ乾皮質ナリ。石寶殿ハ凝灰質石英粗面岩タル龍山石ノ產地ニシテ「のちぎく」ノ群落地方ハ漸次採掘セラル、傾アリ、溝邊ノ如キモ石ヲ運ブレールヲ設ケラレ爲メニ其繁殖ヲ害セラレツ、アリ、今ニシテ保護ヲ加ヘズンバ近キ將來ニハ石材採掘ノ爲メニ湮滅セラル、ノ患アリ。(山鳥委員)

加 東 郡

第三 光明寺ノ三本杉

〔圖版第二三・挿圖第一六〕

所在 加東郡瀧野町光明寺境内

播丹線瀧野驛ノ西北ニ當リ五峰山アリ、山頂マデ阪路約二キロメートルト稱ス。頂上ニ多聞院大慈院遍照院龍藏院ノ四ヶ寺アリ、灌佛會ニハ參拜者山道ヲ填メテ歩ム可ラズト云フ。大慈院遍照院龍藏院ニ各一本ツ、ノ略同大ノ大杉アリ、里人之ヲ三本杉トイフ。

一、大慈院ノ大杉

大慈院ノ本堂ノ北ニ位置シ樹勢頗ル宜シ。

高サ 三一三メートル

一ノ枝マデノ高サ 七五メートル

根本周圍 六九メートル

目通周圍 四五メートル

二、遍照院ノ大杉

遍照院ノ淡竹ノ藪内ニアリ、眞直ニ伸ビテ樹勢頗ル宜シ、蓋シ藪内ニアリテ地味豊饒ノ爲メナラン。

高サ

二七〇メートル

一ノ枝マデノ高サ

九〇メートル

根本周圍

五五メートル

目通周圍

四四五メートル

三、龍藏院ノ大杉

龍藏院ノ淡竹ノ藪内ニ塚ノ際ニアリ、故ニ塚ノ側ハ土ニ埋レテ根本ノ周圍ヲ測ル可ラズ、此レモ樹勢甚宜シ。

高サ

三一五メートル

一ノ枝マデノ高サ

一二〇メートル

目通周圍

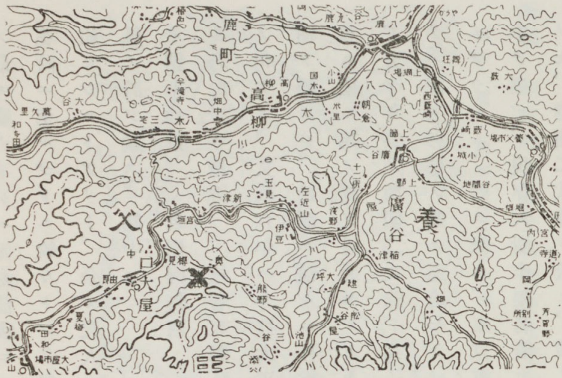
四九メートル

傳説 光明寺ノ三本杉トテ地方ニ於テ人口ニ膾炙スト雖モ傳説詳ナラズ。(山鳥委員)

養父郡

第四 樽見ノ仙櫻

第二一圖 樽見附近地圖



× 仙櫻在所地

〔圖版第二四〕

所在 養父郡口大屋村樽見字ケシメ八五番

山陰線養父驛ニ下車シ縣道八鹿若櫻線ヲ行クコト約二十キロニシテ養父郡口大屋村役場ニ達ス。其ノ間自動車ノ便アリ、約一時間ニシテ達スルコトヲ得ベシ。

仙櫻ハ同地道路元標ヨリ東南約一キロ山腹桑園中ニ聳立ス。樹種ハ白彼岸ニ屬シ、縣下最大ノ櫻樹タリ。地上約二メートルニシテ數幹ニ分レ、樹冠ノ廣リ三八メートルニ達ス、枝ニ枯死セル部分多ク樹勢稍衰フ。

地上一五メートルノ幹圍 五二五メートル

樹高 二〇〇メートル

來歴

櫻井勉著校補但馬考ニ曰ク、

樽見仙櫻ハ樽見村蹴占山ニアリ。土人云フ、此樹

ノ最モ盛ナリシハ元祿前後ニシテ、當時ハ高サ五丈ニ過ギ、枝柯東西南北二十間ニ亘リ、花時ニ至ルゴトニ皎々トシテ白雪ノ如クナリシカバ、出石城主小出英安公特ニ來テ之ヲ觀給ヒシコトアリト。余ガ先人モ文政六年三月ヲ以テ之ヲ賞シ、呼デ仙櫻トナシ、爲メニ古風ノ詩ヲ賦ス。詩中ニ

星霜不知數 名樹國無兩 周匝過三圍 蟠蜿殆十丈

花若鮮妍分積雪 枝若天矯分修蟒 東風吹起雪翻空 白日失火忽曠隣

ノ句アリ。文政六年ハ今茲大正七年ヲ距ルコト殆ド百年ナリ。恨クハ土人利ヲ重ンジテ名樹ヲ輕ンジ、四面ニ植ルニ杉檜ヲ以テス。然レドモ、余ガ明治三年ニ出石藩知事仙石政固君ニ從ヒ其ノ麓ヲ通過セシトキハ、其ノ幹亭々トシテ猶杉檜ノ上ニ挺立セシガ、爾來又殆ド五十年其ノ周圍二丈餘ト其ノ高サ五丈餘ト依然往年ニ異ナラズトイヘドモ、枝柯ニ至リテハ漸次杉檜ノ爲ニ逼迫セラレ、今ヤ東西十間南北十二間ニ過ギズ、人ヲシテ長大息ニ堪ヘザラシム。因ニ録ス、東京市淀橋々畔ニ淺田澱橋ナル人アリ、日本朝鮮ノ老大櫻樹一百本ヲ撰ビ、現存大樹作樂名鑑ナルモノヲ撰ス。其ノ第十九ニ、福島縣ノ大鹿櫻ナルモノヲノセ、幹圍二丈餘ト云ヒ、其ノ第二十二ニ滋賀縣地藏ヶ平大櫻ナルモノヲノセ、幹圍二丈ト云フ。此仙櫻ハ蓋右二櫻ト兎牛ヲ爭ヒ、日本朝鮮名櫻樹中ニ於テ第十九位若クハ廿位ヲ占ムベキ資格ヲ有スルモノナリ。記シテ土人ノ反省ヲ望ム云々(西尾委員)

朝來郡

第五 玉林寺ノ垂櫻

[圖版第二五]

所在 朝來郡與布土村與布土字大谷玉林寺境内

第二二圖 與布土村附近地圖



玉林寺ノ垂櫻在所地圖

山陰線梁瀬驛ヨリ約四キロニシテ與布土村役場ノ所在地タル與布土部落ニ達ス。玉林寺ハ同部落ノ東南山麓ニアリ。境内東北隅ニ當リ一大垂櫻アリ、繞ラスニ木柵ヲ以テス。垂櫻トシテ縣下屈指ノモノナリ。梢頭其ノ他枝柯ニ枯死セル部分アリテ樹勢稍々衰フ。大正九年以來保存會ヲ設ケ保護ニ勉メツ、アルモ、大正十三年ニ於ケル大旱魃以來樹勢頓ニ衰ヘタリト云フ。

地上一五メートルノ幹圍 三五四メートル

樹高 一〇五メートル

枝下 三三メートル

(西尾委員)

氷上郡

第六 柏原八幡ノ木ノ根橋

〔圖版第二六〕

第二三圖 柏原町附近地圖



所在 氷上郡柏原町八幡神社境内

本樹ハ山陰線柏原驛ノ所在地タル柏原町縣社八幡神社鳥居前柏原川河畔ニアリ。一大樹根延ビテ川ニ架シ恰モ橋梁ノ如シ。思フニ傍ニ在ル木橋ハ元土橋タリシ當時根部次第ニ進出シ、遂ニ彼岸ニ達シ現今ノ状態ヲ呈スルニ至リシモノナラン。樹種ハ樺ニ屬ス。根部ニ徑二十センチノ空口ヲ存スルモ腐朽部廣カラズ樹勢旺盛ナリ。

地上 一五メートルノ幹圍 七〇メートル
 樹高 約一五〇メートル
 根橋ノ長サ 六〇メートル
 根中央部ノ圍リ 二七メートル

(西尾委員)

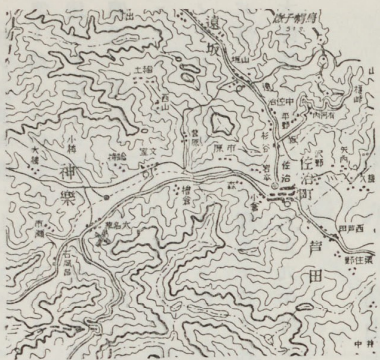
第七 大名草ノ大公孫樹

〔圖版第二七〕

所在 氷上郡神樂村大名草

公孫樹ハ支那ノ原産ニシテ古來我國社寺城内等ニ植栽セルモノナレバ大木ノ存スルモノハ支那ト日本トノミ。公孫樹科ニ屬ス。モト松柏科ニ屬セシ

第二四圖 大名草附近地圖



× 大公孫樹在所地圖

ガ去明治二十八年故平瀬作五郎先生ハ東京小石川植物園内ノ公孫樹ニ於テ精虫ヲ發見シテ以來松柏科ト分離シテ公孫樹科ヲ獨立セシメ「いてふ」只一種ヲ有スルノミ。學名ヲ *Chinkgo hiboba* L. ト云フ。

福知山線石生驛ニ汽車ヲ捨テ乗合自動車ニテ佐治ニ下リ之ヨリ約四キロノ間ヲ俤ヲ雇フカ又ハ自動車ヲ買ヒ切リテ神樂村字大名草ニ至ル。愛宕山ノ中腹ニ當リ公孫樹ノ大木アリ。山ヲ登ルコト約二百メートルニシテ常瀧寺アリ、寺ノ庭ヲ通り更ニ登ルコト約六百メートルニシテ此レニ達ス。樹ハ甚ダ高カラズト雖モ太クシテ且枝ヲ廣ク繁茂セリ。

其高カラザルハ十年程前一樵夫此樹ノ下ヲ通りシニ黃鼯其洞窟ニ入レリ、依テ之ヲ燻プサント欲シ杉葉ヲ入レテ火ヲ點セシニ洞内乾燥セシヲ以テ忽チ燃エ上リテ火事トナリ村民大舉シテ

之ヲ消シ止ム、其後樹幹折レタルガ爲メナリ。

目通周圍

一〇メートル

高サ

一八メートル

枝ノ最高キ處二七メートルニシテ此枝ハ東ニ向ツテ一八メートル伸ブ。

乳ト稱スル瘤狀突起ノ下垂スルモノ頗ル多ク、大ナルモノハ一九メートルニ達ス。又乳ノ地ニ達シテ地中ニ入ルコト恰モ氣根ノ支柱根ノ如キ觀ヲ呈スルモノアルハ一奇觀タリ。

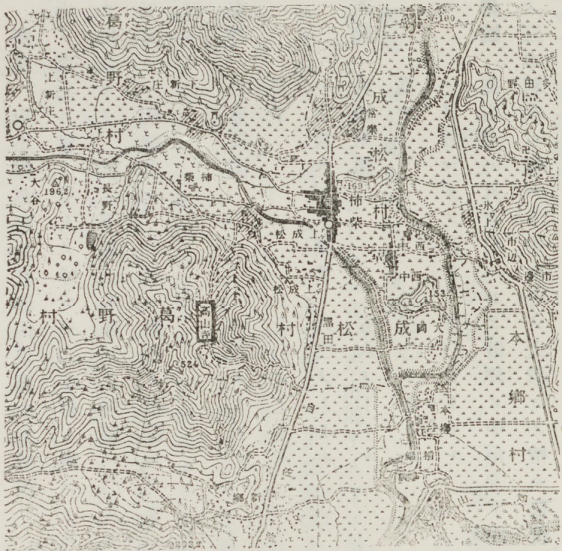
傳説 此地ハ嘗テ足利氏時代赤松圓心ノ祈願所タリシ常瀧寺ノアリシ處ニシテ公孫樹ハ其境内ニアリシモノナリ、而シテ當時ハ此木ノ附近ノ山ニ三十有院坊アリシト云フ外傳説ノ殘レルモノナシト雖モ其太サヨリ察スルニ餘程樹齡ヲ經タルモノナリ。火災ノ爲メ其上部ノ折レシハ甚ダ惜ムベシ。乳狀瘤多キ爲メ乳汁ノ出ヌ婦人ノ祈願ノ爲メ參拜スルモノ頗ル多シ。此木ノ基ニ大師像ヲ祭レリ、大正九年村ヨリ勸進セシモノナリ。(山鳥委員)

第八 高山寺ノ大公孫樹

所在 水上郡葛野村弘浪山頂高山寺境内

成松町ヨリ約一キロ、葛野村入口ニ當リ弘浪山アリ、海拔約五百メートル、其頂上ニ高山寺ト云フ小寺アリ。寺ノ西方觀音堂ノ西北ニ當リ一大公孫樹アリ。主幹ハ三百年前傳ヘ曰ク雷火ノ爲メ燒ケテ下部ヲ存スルノミニテ今猶燒ケタル炭痕ヲ存ス。此主幹ヨリ六本ノ分蘖枝主幹ニ

第二五圖 高山寺附近地圖



接シテ成長シ是等ヲ合シテ周圍ハ九五メートルアルト雖モ主幹ノ太サハ目通五八メートルナリ、最高ノ莖ハ二七五メートルニ達ス、枝ノ伸ブル範圍ハ幅約二十メートルニ達シ東方ニ最ヨク伸長繁茂セリ。莖ニハ「をしやぐじでんだ」、「ひめのきし」のぶ等ノ小羊齒ヲ生ジ乳狀ノ瘤亦多シ、其長キモノハ一七メートルニ達ス。乳ヲ乞フ婦女ノ參拜スルモノ多ク祈願ノ豆袋ヲ多數之ニ吊セリ。

傳説 天平寶字五年兵火ニカ、リ寺ハ燒ケタリ、寺ノ開祖法道仙人曰ク、此處ニ觀音ヲ祭ル間ハ此公孫樹ヲ叮嚀ニ育テヨ、其盛衰ハ寺ノ消長ニ關スト。一名之ヲ十一面觀世音回向銀杏樹ト稱ス、思フニ天平寶字五年ハ今ヨリ約一千六十年前ナリ、此時既ニ此公孫樹ハ相當ノ大サニ達セシナル

ベシ。(山鳥委員)

第九 高山寺ノ二本杉

〔圖版第二八〕

所在 氷上郡葛野村弘浪山頂高山寺境内

寺ノ東北ニ當リ里人ノ呼ンデ二本杉ト稱スルモノアリ。二本ノ杉略同大ノ發育ヲトゲ根本ニ於テ接合セリ、幹ノ下部二本合シテ周圍一〇八メートル、二本共南方ニ傾斜シ同方向ニ枝葉榮エ下方ニハ枯枝多シ。二本ハ東西ノ位置ニアリ、故ニ此處ニ東幹西幹ト名ヅケ其實測セルモノヲ記スベシ。

東幹 目通周圍

六五メートル

高サ

二七〇メートル

一ノ枝マデノ高サ

六二メートル

西幹 目通周圍

五六メートル

高サ

二三〇メートル

一ノ枝マデノ高サ 五〇メートル

傳説

高山寺ハ眞言宗ニシテ攝津ノ中山寺ト同ジ建方ナリ。今ヲ去ル三百年前此二本杉ト同山ノ二本杉(次ニ記ス)ト中山寺ノ大杉トノ梢ニ龍燈ガ輝ケリ、故ニ二本杉ト共ニ龍燈杉ト稱シ或ハ天狗ノ宿リ木トモ云フ。之ヨリ參詣人多ク爲メニ寺ハ大ニ繁昌セリトイフ。樹齡一千年以上ト稱セリ。(山鳥委員)

ト稱セリ。(山鳥委員)

第一〇 高山寺ノ二本杉

所在 氷上郡葛野村弘浪山

弘浪山ハ山麓ヨリ頂上高山寺マデ山道十八丁ト稱ス。其十五丁目ノ處ニ道ノ左側ニ二本杉ト稱スル大杉アリ。梅ト杉トノ混淆林ニシテ扁柏ヒノキ之ニ交リあをき、「うらしろがし」かなめもち、「やぶつばき」さかき、「こんてりき」たかのつめ、「はないかだ」等ノ小木本アリ。

三本杉ハ一本ノモノニ四メートルノ處ヨリ三主幹ニ分岐シ略同大ノ發育ヲトグル様奇觀ヲ呈シ樹勢極メテ良ク石斛之ニ着生ス、其位置ニヨリ東幹西幹及北幹ト名ヅケ其實測セルモノヲ記スベシ但シ各幹共周圍ハ三又セル處ニ於テ之ヲ測リ一ノ枝マデノ高サハ地上ヨリ測レリ、道ニアラザル側ハ道ヨリモ二メートル位下方ヨリ生ゼリ。

東幹 周圍

三五メートル

一ノ枝マデノ高サ

一九〇メートル

西幹 周圍

三八メートル

一ノ枝マデノ高サ

二一〇メートル

北幹 周圍

三一メートル

一ノ枝マデノ高サ 一八五メートル
樹高ハ四十メートル以上モアルベシト雖モ林中ニアリテ測ルヲ得ズ。(山鳥委員)

第一一 大歳神社ノ巨杉

所在 氷上郡葛野村三方大歳神社境内

大歳神社ハ成松町ヨリ約六キロニアリ。神社ノ本殿ノ正裏ニ杉ト扁柏トノ混淆林アリ、其縁ニ本殿ニ接シテ生ズ、樹幹真直ニシテ枝ハ皆細ク且短カシ。

根本周圍

八八メートル

日通周圍

六〇メートル

高サ

四六〇メートル

一ノ枝マデノ高サ(正南ニ出ル小枝)

八〇メートル

傳説 傳説ノ傳ハルモノナシト雖モ古來御神木ト稱シ樹齡約七百年ト稱セリ。(山鳥委員)

圖 版



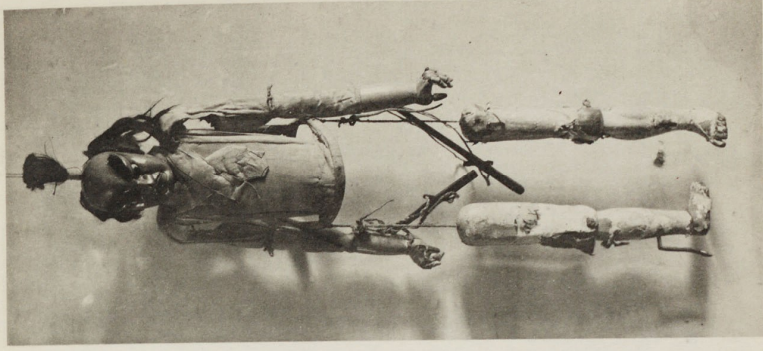
圖古條三村市郡原三 (一)

(市村役場所藏)

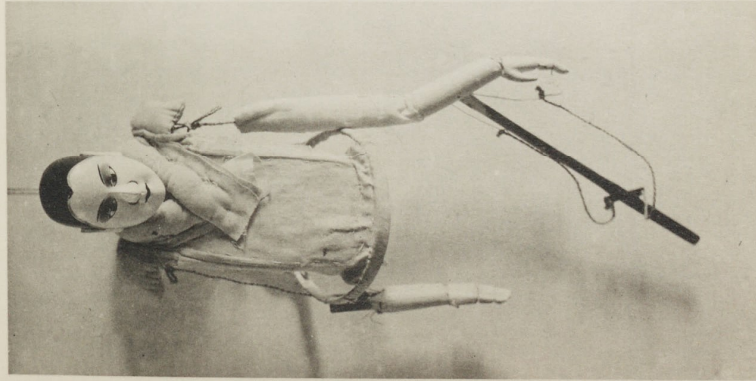


圖ノ技演座操形人 (二)

(一) 角目頭ヲ用ヒタル立役ノ姿



部頭ノ右 (二)



頭娘 (三)

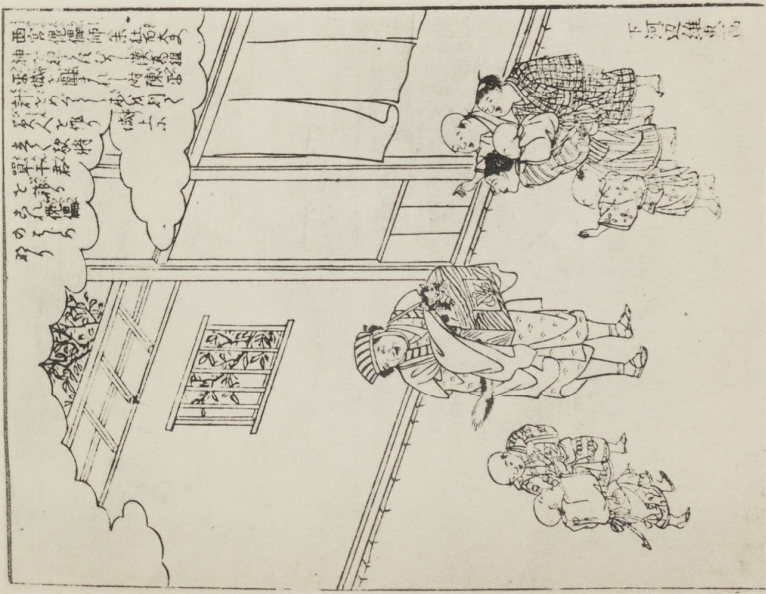
(三條吉田傳治郎氏所藏)

(一) 操人形ノ圖



(溪路名所圖繪所載)

(二) 操人形(谷山御下)ノ圖



(攝津名所國會所載)



圖ノヒ遣形人 (一)



圖ノ屋樂居芝形人 (二)

東明ノ處女塚 (前部二隅ニ立子ノ後部部ヲ寫シ)



田原紙圖

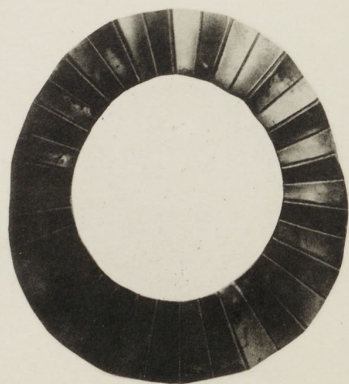


(一) 吳田ノ求女塚



(徑二・七センチ)

(二) 同上發見三角縁三神三獸鏡



東京帝室博物館藏

(三) 同上發見車輪石 (徑約九センチ)



(上) 味泥ノ大塚山
(下) 脇ノ濱ノ乙女塚



如法經箱陰銘拓影

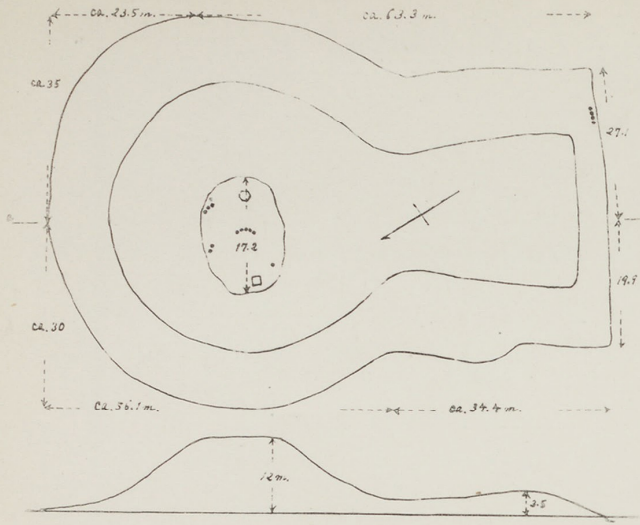


景全墳古塚子調ノ村幡八 (一)



(二) 同上古墳發見埴輪樹物片 (約五分ノ三天)

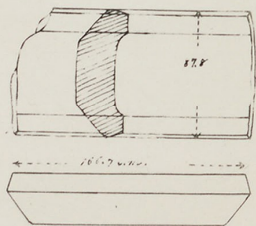
(一) 八幡村ノ調子塚古墳外形圖



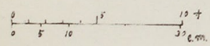
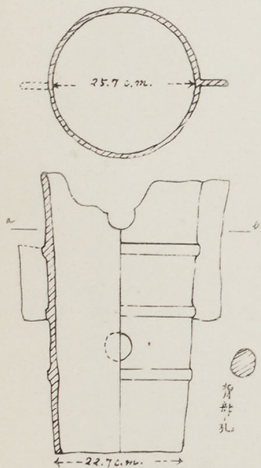
(三) 神野村西條部落内地藏堂前ノ石棺蓋實測圖



(四) 同村内縣道ワキ地藏堂ノ石棺蓋實測圖



(二) 同上古墳發見埴輪圓筒實測圖

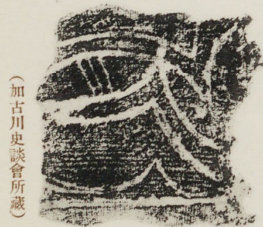




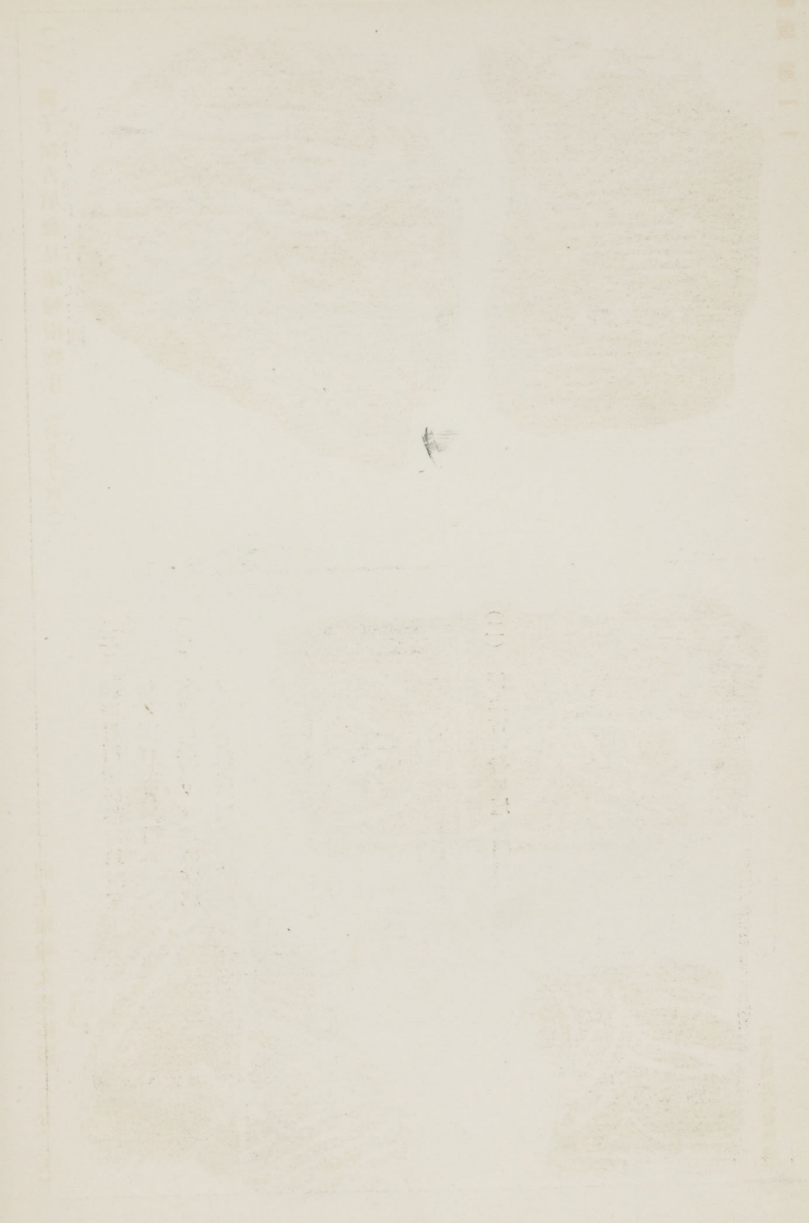
(一) 調子塚古墳發見埴輪樹物片 (約五分ノ四大)



(二) 同上埴輪文様拓影 (五分ノ三大)



(加古川史談會所藏)





圖經鬘勝讚講子太德聖 (左)



像坐來如迦釋造木 (右)



木造十二神將立像

斑鳩寺所藏



木造日光及月光菩薩立像

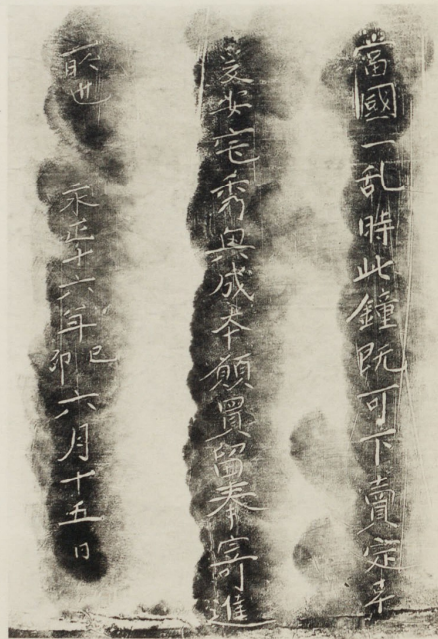
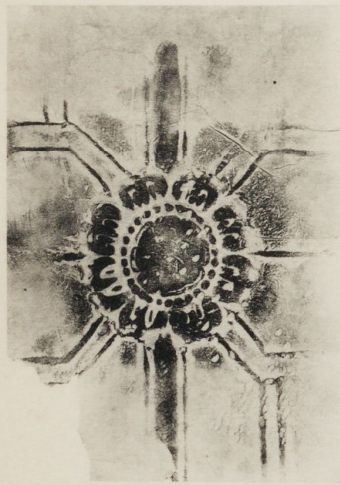
斑鳩寺所藏



千光寺本堂及び二重塔



影拓銘刻鐘梵寺光千 (一)

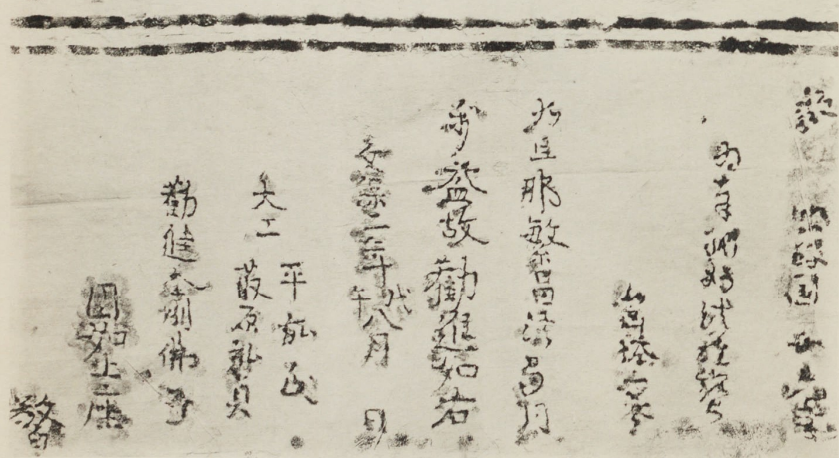


影拓坐撞 = 並銘刻鐘梵上同 (二)

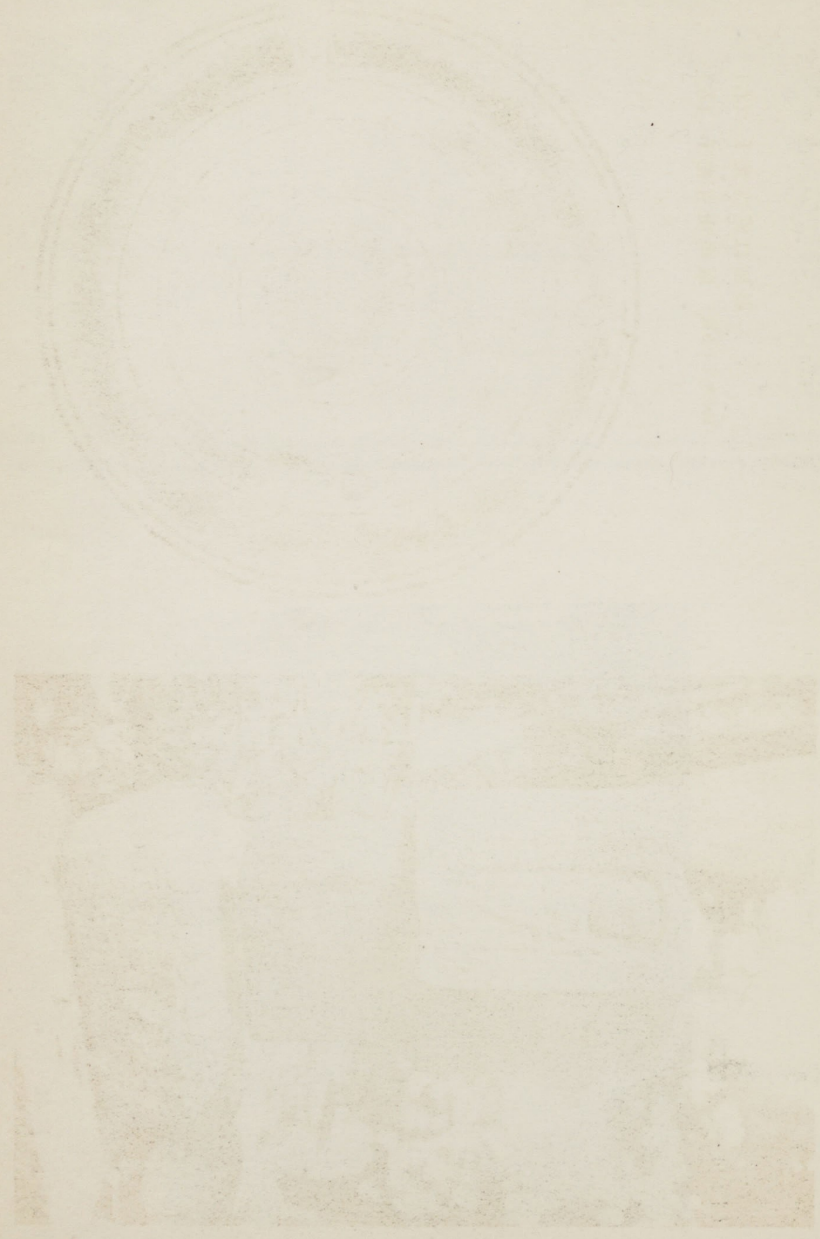


(徑約六〇センチ)

(二) 千光寺鐵製如法經塔套



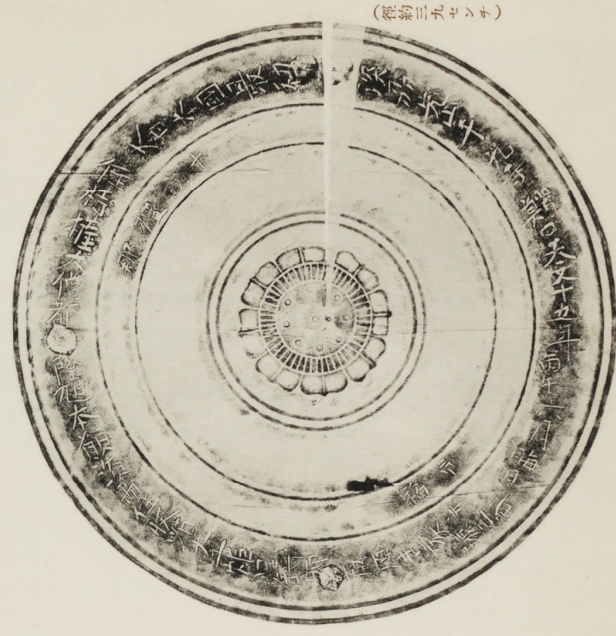
影拓銘刻上同 (二)



影拓口鬻寺光千 (右)
 (銘在年三十永寛)
 塚申庚寺光千 (左)



圖版 第一八



(徑約三九センチ)



關龍灘一ノ



關龍灘二ノ

姫山公園ノ原始林 ヲノ一



姫山公園ノ原始林 ヲノ二





(上) 姫山公園ノ原始林 ヲノ三

(左方ノ上部ニ建築物ノ見ユルハ白蠟城ノ頂閣ナリ)

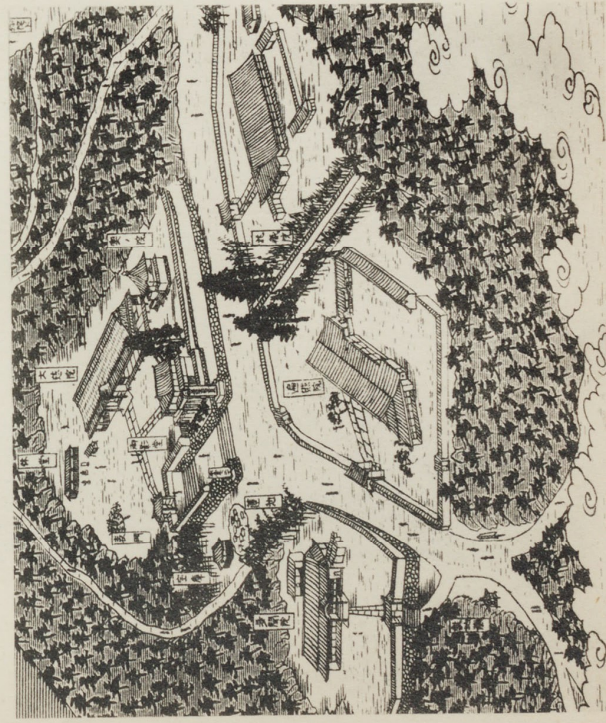
(下) 姫山公園ニアリシ葛ノ大木ノ横断面

(五分ノ四寸)

石ノ寶殿ニ於ケル「のちぎく」群落



川川將新圖



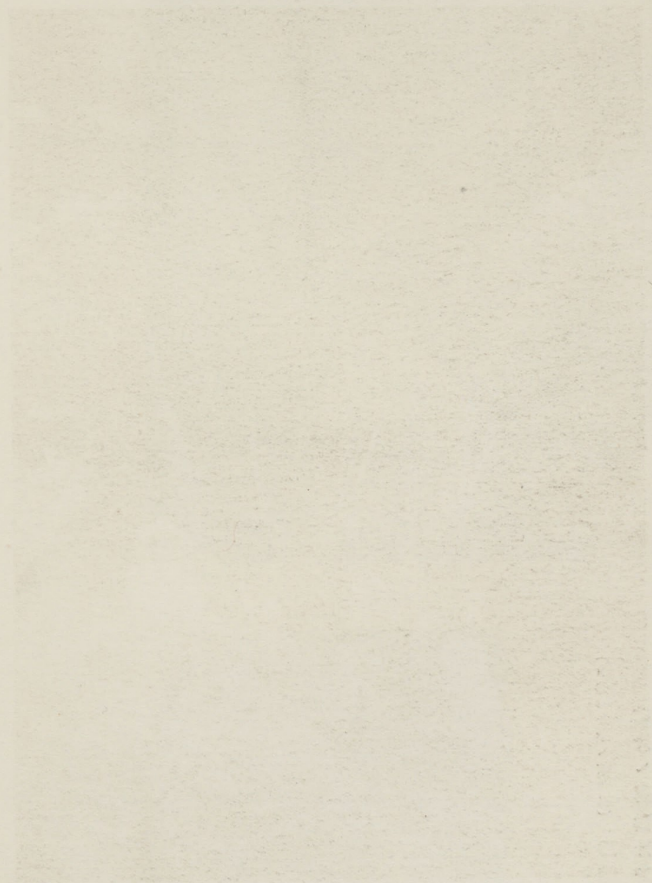
新國 三川 圖



(ス示ヲ在所ノ杉本三) 内境寺明光 (左)
杉大ノ院慈大内寺明光 (右)



樽見ノ仙櫻

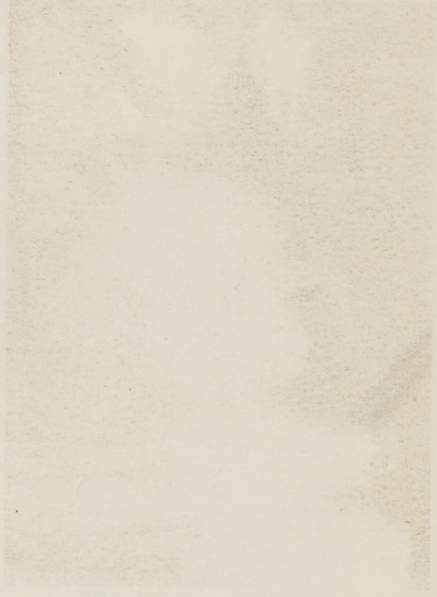




玉林寺ノ垂櫻



柏原八幡ノ木ノ根橋



樹孫公大ノ草名大 (左)

瘤乳ノ樹孫公大上上同 (右)



杉本二ノ寺山高

昭和二年三月廿五日印刷
昭和二年三月三十日發行

兵 庫 縣

京都市下京區柳馬場三條南入
株式會社似玉堂內

印刷者 桂 千 代 造

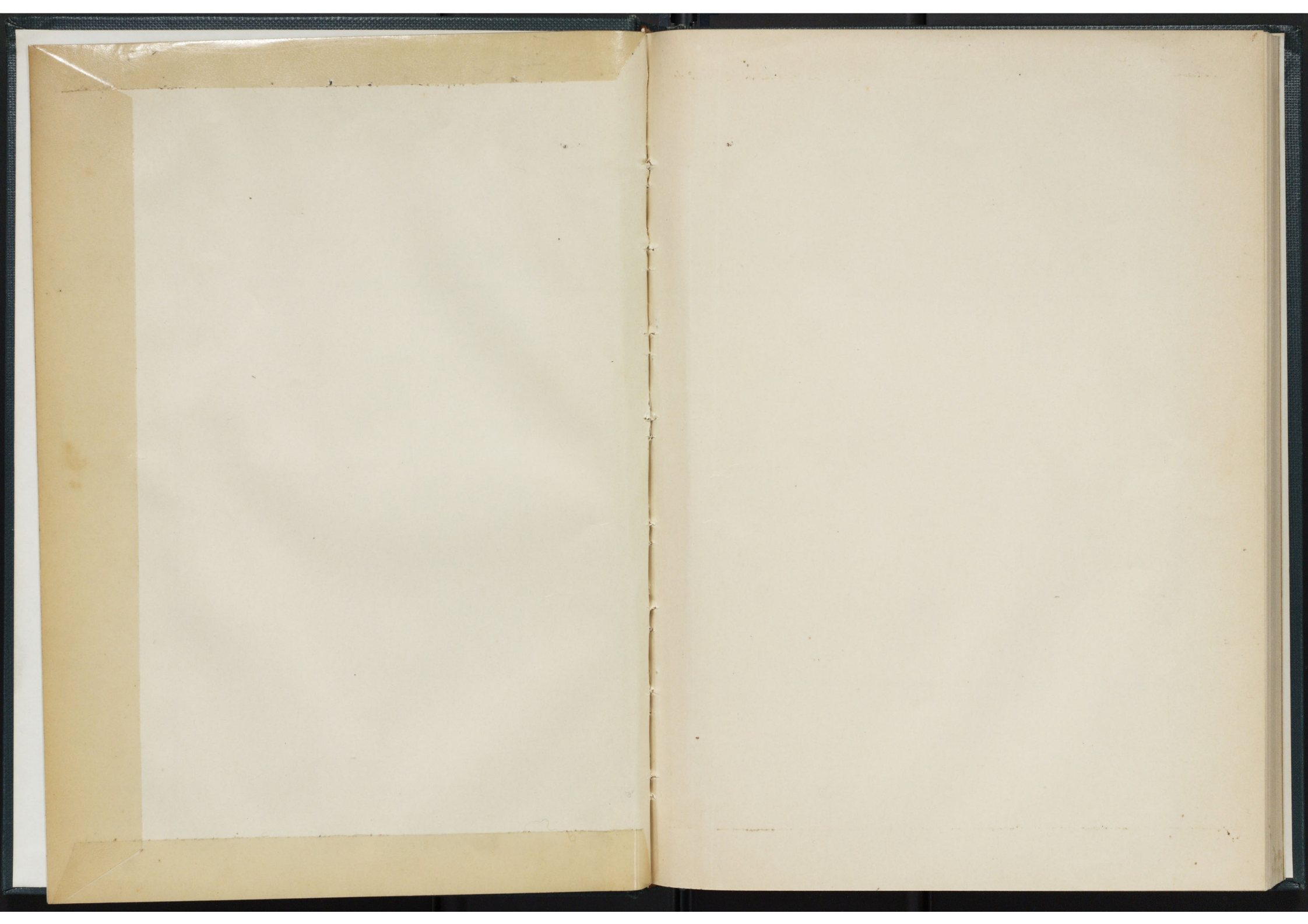
京都市下京區柳馬場三條南入

印刷所 株式會社似玉堂

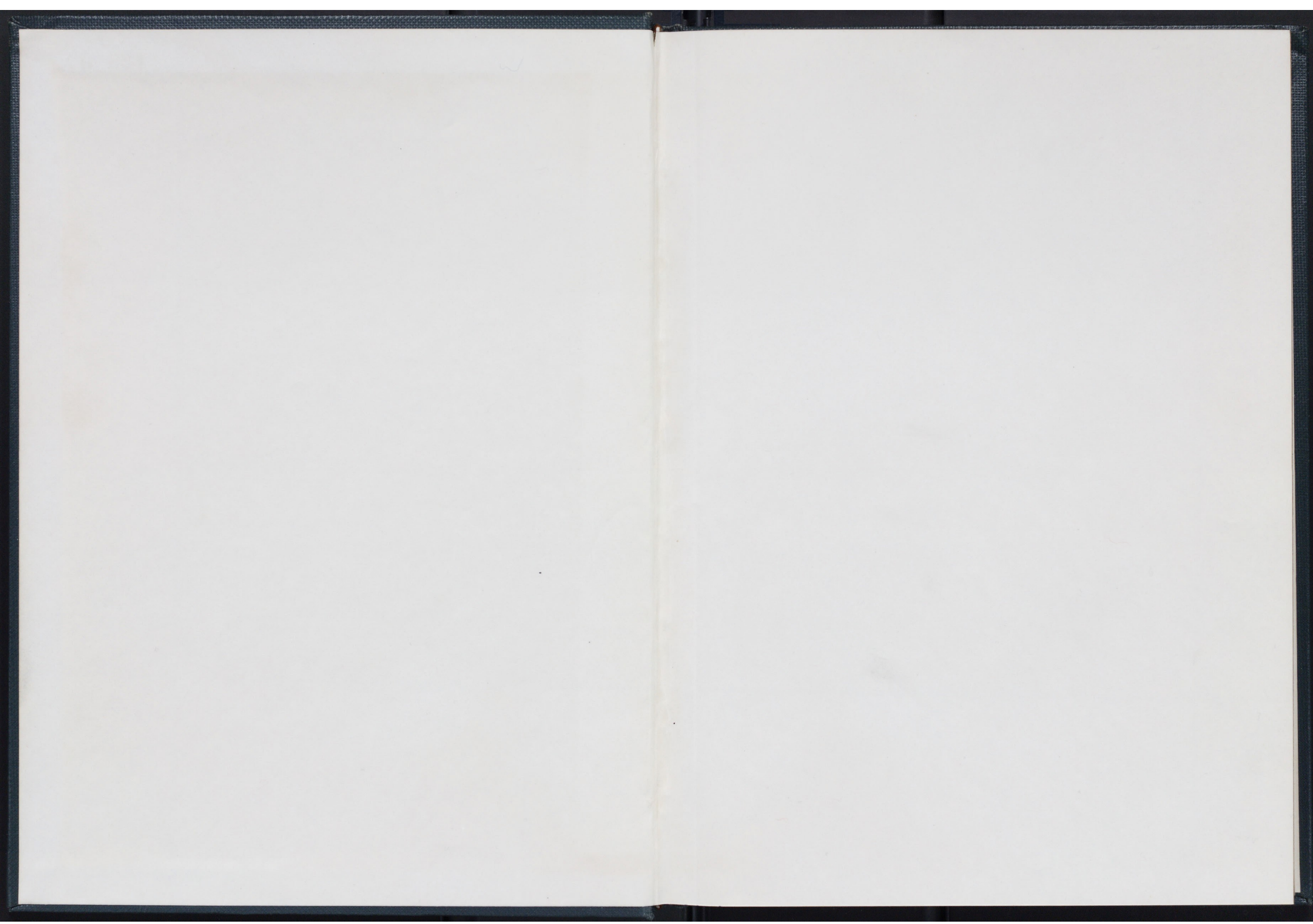
宣統二年三月三十日發行
宣統二年三月廿五日發行

宣統二年三月三十日發行
宣統二年三月廿五日發行
宣統二年三月廿五日發行
宣統二年三月廿五日發行

頭 報 總







兵庫県立図書館
☎ 078-918-3366



100758622